

公共事業等施行状況調（令和5年9月末）

県 分

（単位：百万円、％）

工種区分	年 度	予 算 措 置 額				本工事費契約額及び契約率				備 考
		事 業 費		本 工 事 費		（ 9 月 末 ）				
		5年度	4年度	5年度 A	4年度 B	5年度 C	C/A	4年度 D	D/B	
1	治山・治水	24,617	23,764	14,339	16,811	10,403	72.6	12,589	74.9	
2	農林・水産	31,136	32,757	23,420	24,654	18,925	80.8	20,780	84.3	
3	道 路	55,593	53,793	30,787	33,860	24,319	79.0	27,681	81.8	
4	港湾・空港	7,562	7,082	3,342	2,983	2,600	77.8	2,643	88.6	
5	下水道・公園	10,777	9,868	2,522	2,732	1,800	71.4	651	23.8	
6	住 宅	1,298	1,489	1,227	1,045	1,109	90.4	886	84.8	
7	庁 舎	2,374	2,467	2,103	2,315	1,828	86.9	1,589	68.6	
8	土地造成	0	0	0	0	0	0.0	0	0.0	
9	鉄道・軌道	0	0	0	0	0	0.0	0	0.0	
10	学校・病院	6,558	5,802	3,929	4,519	2,329	59.3	1,724	38.2	
11	工業用水・上水道等	1,251	950	344	84	119	34.6	78	92.9	
12	災害復旧	5,822	602	5,200	457	3,838	73.8	105	23.0	
13	その他	6,453	7,521	4,259	4,255	2,598	61.0	2,524	59.3	
	計	153,442	146,093	91,472	93,714	69,867	76.4	71,251	76.0	

※項目ごとに端数処理をしているため計と一致しない場合がある。

公共事業等県内県外別発注実績（令和5年9月末）

（単位：社、件、百万円、％）

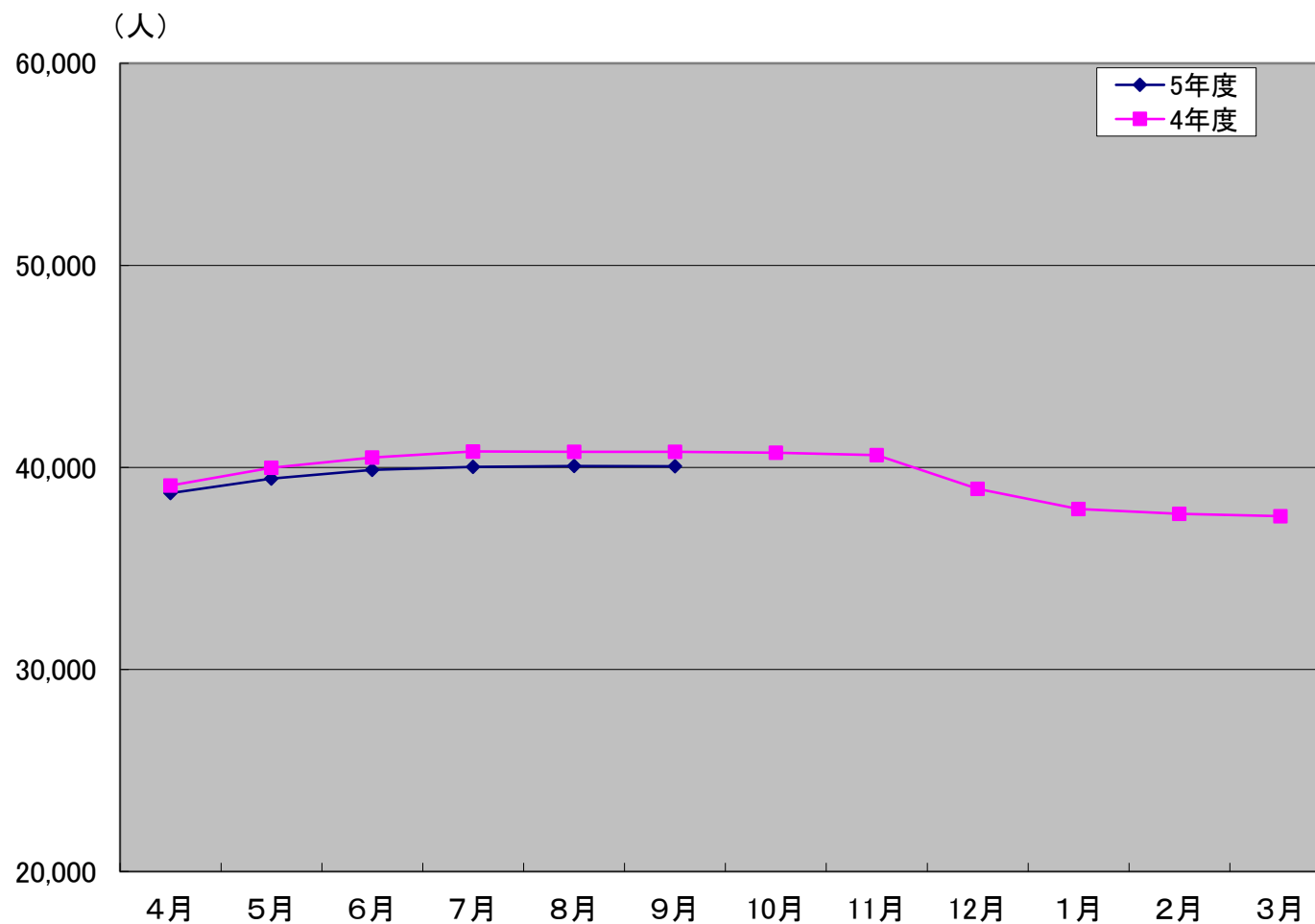
事項 区分	予算措置額 (A)		発注実績 合計 (B)											
	事業費	本工事費	県内 (C)			県外 (D)			共同企業体 (E)					
指名業者等			契約	金額	指名業者等	契約	金額	指名業者等	契約	金額	指名業者等	契約	金額	
5年度	153,442	91,472	20,317	1,914	69,867	19,920	1,826	62,115	346	70	3,254	51	18	4,498
					B/A 発注率 76.4	C/B 98.0			D/B 1.7			E/B 0.3		
前年度比	105.0	97.6	102.5	103.9	98.1	102.6	103.4	96.2	96.4	112.9	91.1	121.4	128.6	144.0
4年度	146,093	93,714	19,817	1,842	71,251	19,416	1,766	64,556	359	62	3,571	42	14	3,125
					B/A 76.0	C/B 98.0			D/B 1.8			E/B 0.2		

被保険者数

	5年度	4年度
4月	38,728	39,104
5月	39,445	39,983
6月	39,880	40,493
7月	40,020	40,790
8月	40,068	40,778
9月	40,056	40,773
10月		40,728
11月		40,608
12月		38,934
1月		37,942
2月		37,700
3月		37,587

前月末被保険者数	40,068
資格取得者数	458
資格喪失者数	466
転入者数	2
転出者数	6
今月末被保険者数	40,056

雇用動向(建設業における雇用保険の加入動向)9月末



建設資材の需給・価格動向調査 (5年10月)

	需給動向									価格動向									備 考						
	青森			弘前			八戸			県平均			青森			弘前				八戸			県平均		
	緩 和	均 衡	逼 迫	緩 和	均 衡	逼 迫	緩 和	均 衡	逼 迫	緩 和	均 衡	逼 迫	上 昇	安 定	下 落	上 昇	安 定	下 落		上 昇	安 定	下 落	上 昇	安 定	下 落
セメント		○			○			○			○			○			○			○			○		普通ポルトランド(バラ)でトン当たり18,400円と前月比変わらず。8月の青森県内の販売量は2万3千トン(協会調べ)で前年同月比6.0%減。主たる用途の生コン出荷量が全国的に低調であることも影響し、前年同月実績を下回る状況が続いており、減少に歯止めが効かない。一方、メーカー各社は、現行価格を維持すると共に、カーボンニュートラルを見据えた設備投資等を推し進める構え。主たる需要家である生コンメーカーも様子見の姿勢に徹しているため、先行き、横ばいの公算大。
コンクリート製品		○			○			○			○			○			○			○			○		道路工事向け、農業土木向けとも昨年度比で県内出荷はやや増加している。コンクリート製品メーカー各社は、セメント、電力料金の値上がりや輸送コストの増加を理由に、値上げの上積みを求め交渉を継続している。一方、採算確保を優先する需要家の購入姿勢は厳しく、さらなる値上げの受け入れには慎重な姿勢を崩していない。先行き、横ばいの公算大。
生コンクリート		○			○			○			○			○			○			○			○		県内の9月の出荷量は4万9千m3(生コン工組調べ)で前年同月比10.5%の減少。小規模工事向けが中心で県内全体の生コンの商状は盛り上がり欠いている。セメントや骨材などの値上げ要請があるなか、メーカー各社は、原材料および輸送コスト増加による採算悪化回避のため、強気の姿勢で交渉を継続している。工事の採算確保を優先する需要家は満額の受け入れには抵抗しているが、値上げの一部について容認する姿勢を示している。値上げ幅に焦点を絞った交渉が大詰めを迎えており、目先、強含みで推移する公算が大きい。
砕石		○			○			○			○			○			○			○			○		生コン用、道路用とも大型物件は少なく、需要は盛り上がり欠ける状況が続く。販売量は伸び悩む状況が続いているが、メーカー各社は運転手確保に向けた輸送コストの増加や電力料金の高騰分を価格転嫁し、採算を確保したい意向にある。しかし需要家の値下げ要求は依然続いており、現行価格の維持が精いっぱい状況。需給改善にはなお時間を要する見通し。先行き、横ばい推移の公算が大きい。
小 棒		○			○			○			○			○			○			○			○		SD295・D16でトン当たり114,000円と前月比変わらず。需要回復の動きは見られず、依然として精彩を欠く商状が続いている。メーカー各社は10月以降、販売価格の引き上げを表明。エネルギー価格の上昇など製造コスト増による採算悪化を避けるべく市況の底上げを目指す意向を示しており、市中から先安観が解消し始めている。一方、需要家による値下げ要求の姿勢は変わっていない。しばらくは供給側と需要家のこう着状態が続くものとみられる。目先、横ばいで推移する公算が大きい。
アスファルト		○			○			○			○			○			○			○			○		9月の県内出荷量は5万5千トン(合材協会調べ)で前年同期比31.5%の減少。舗装工事発注の減少が続く、商状は盛り上がり欠いている。メーカー各社は、主な原材料であるストアス価格の上昇を販売価格に転嫁するため値上げ交渉を継続。需要家は製造コストが増加している状況に理解を示しつつも、工事量減少による採算悪化を回避すべく値下げ要求を続けており、交渉はこう着状態が続くとの見方が強い。目先、横ばいの公算が大きい。
木 材		○			○			○			○			○			○			○			○		管柱 杉(KD)3.0m×10.5×10.5cmでm3当たり89,000円と前月比変わらず。8月の県内新設住宅着工戸数は458戸で前年同月比0.9%の減少(国土交通省調べ)。ウエイトの高い持家が前年同月比8.6%の減少、貸家が同28.6%の増加などとなっている。資材や原油の高値推移による住宅販売価格上昇を背景に、全国的に新築戸建て住宅の低迷が続いている。市場では、最近の住宅ローン金利上昇や食料品を始めとする諸物価高騰による住宅購買意欲の減退懸念など、今後の木材需要回復への不透明感が根強い。目先、横ばい推移。
油 類		○			○			○			○			○			○			○			○		軽油はミニローリー渡しでリットル当たり134円、重油はローリー渡しでリットル当たり95円ととも前月比3円下落。燃料需要が高まるなか、主要産油国は供給抑制を継続しており、需給ひっ迫の見方が強まっている。原油相場の上昇と円安進行を受けて原油調達コストは増加したが、激変緩和補助金の拡充により、元売り各社の実質仕切価格は引き下げられた。これを受けた流通筋も追従し、全油種で下落した。国内市況は補助金により価格が抑制されており、目先、弱基調の見通し。
型枠合板		○			○			○			○			○			○			○			○		12×900×1,800mm輸入品で枚当たり1,850円と前月比変わらず。8月の輸入合板入荷量は16.3万m3で前年同月比28.6%の減少(財務省調べ)。入荷量は低水準だが引き合いも精彩を欠いており、市中在庫はさほど減少していない。現地価格高と円安による先高観から流通業者は値上げの機会を伺っているが、需要家は当用買いに徹しており、具体化していない。流通業者は売り腰を強めたい意向だが、需要が回復する見通しは不透明で、価格交渉の進展には時間を要する見込み。目先、横ばいの見込み。
形 鋼		○			○			○			○			○			○			○			○		200×100でトン当たり125,000円と前月比1,000円の続落。流通各社が需要見合いの仕入れに徹しているため市中在庫は減少傾向にあるが、需要は盛り上がり欠く状況が続く需給にひっ迫感は見られない。主力電炉メーカーは販売価格を据え置いたものの、流通業者間の価格競争から、売上げを優先した安値販売も散見される。流通筋はこれ以上の値下げを回避したい意向にあるが、需要が復調する兆しは見えず、年度内は需要低迷が続くとの見方が大勢を占めている。目先、弱基調の公算が大きい。

(価格動向欄の上昇・下落は、3%以上の変動とする。)

建設資材の需給・価格動向調査 (5年10月)

区 分	品 名 ・ 規 格	単 位	青 森		弘 前		八 戸		県 平 均		備 考
			価 格 (円)	前月比 (%)	価 格 (円)	前月比 (%)	価 格 (円)	前月比 (%)	価 格 (円)	前月比 (%)	
セメント	バラセメント(普通ポルトランド)	t	18,400	0.0	18,400	0.0	18,400	0.0	18,400	0.0	
セメント	袋物セメント(普通ポルトランド)25kg入	袋	560	0.0	560	0.0	560	0.0	560	0.0	22,400円/t
コンクリート製品	U形側溝300B L=1m	本	3,570	0.0	3,570	0.0	3,570	0.0	3,570	0.0	
コンクリート製品	ベンチフリューム400型 L=2m	本	7,000	0.0	7,000	0.0	7,000	0.0	7,000	0.0	
コンクリート製品	ヒューム管B型 φ600 2.43m	本	40,600	0.0	40,600	0.0	40,600	0.0	40,600	0.0	外圧管1種
生コンクリート	18-8-40	m3	14,800	0.0	15,600	0.0	17,500	0.0	15,967	0.0	
砕石等	洗砂	m3	3,500	0.0	3,400	0.0	4,900	0.0	3,933	0.0	
砕石等	コンクリート用砕石 25~5mm	m3	4,300	0.0	4,400	0.0	4,900	0.0	4,533	0.0	
砕石等	切込砕石 40~0mm	m3	3,400	0.0	3,500	0.0	3,700	0.0	3,533	0.0	
小形棒鋼	普通丸鋼SR235 φ13mm	t	151,000	0.0	151,000	0.0	151,000	0.0	151,000	0.0	
小形棒鋼	異形棒鋼SD295A D16~25mm	t	114,000	0.0	114,000	0.0	114,000	0.0	114,000	0.0	
アスファルト	ストレートアスファルト 針入度60~100	t	123,000	5.1	123,000	5.1	123,000	5.1	123,000	5.1	60~80
アスファルト	アスファルト混合物 密粒度13	t	15,100	0.0	15,400	0.0	14,300	0.0	14,933	0.0	149,330円/10t
木 材	管柱 杉(KD) 長3m×厚10.5cm×幅10.5cm	m3	89,000	0.0	89,000	0.0	89,000	0.0	89,000	0.0	
油 類	軽油(ミニローリー渡し)	L	134.0	-2.2	134.0	-2.2	134.0	-2.2	134.0	-2.2	134,000円/kl
油 類	重油(ローリー渡し)	L	95.0	-3.1	95.0	-3.1	95.0	-3.1	95.0	-3.1	95,000円/kl
型枠合板	12×900×1800mm	枚	1,850	0.0	1,850	0.0	1,850	0.0	1,850	0.0	
H形鋼	SS400 200×100×5.5×8mm	t	125,000	-0.8	125,000	-0.8	125,000	-0.8	125,000	-0.8	

建設資材需給・価格動向調査結果（県内平均）

表-1 [小型棒鋼・H形鋼]

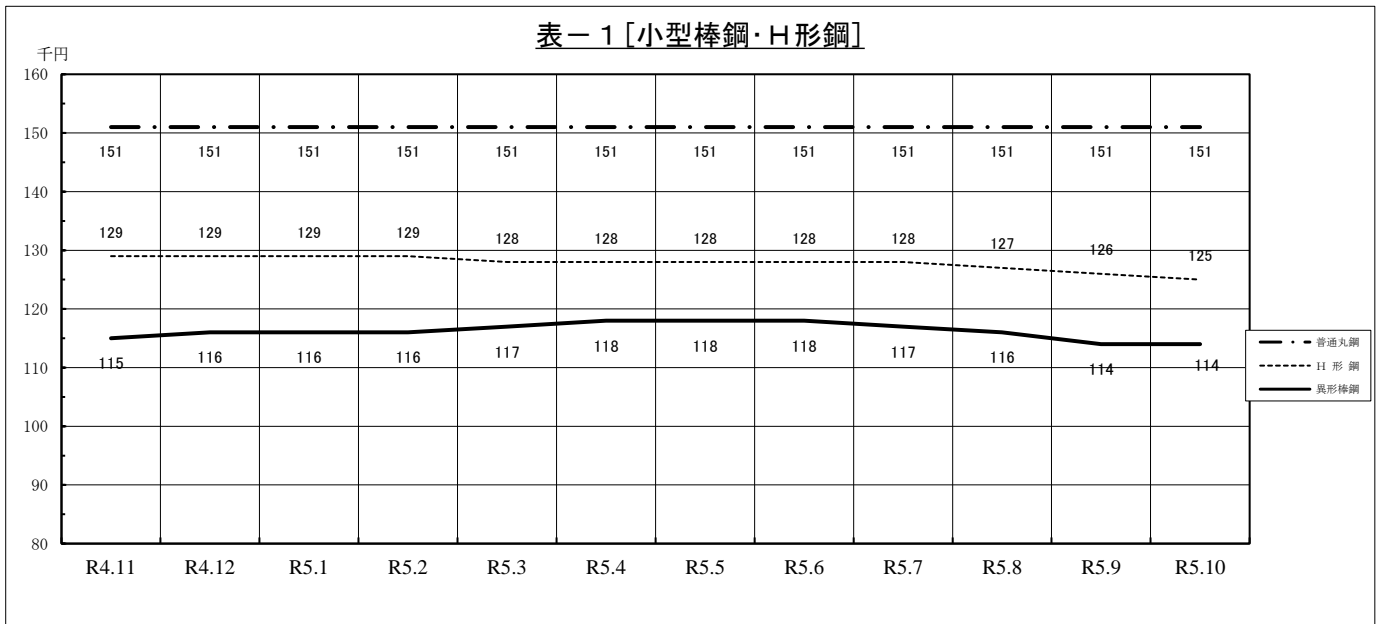


表-2 [セメント・生コン]

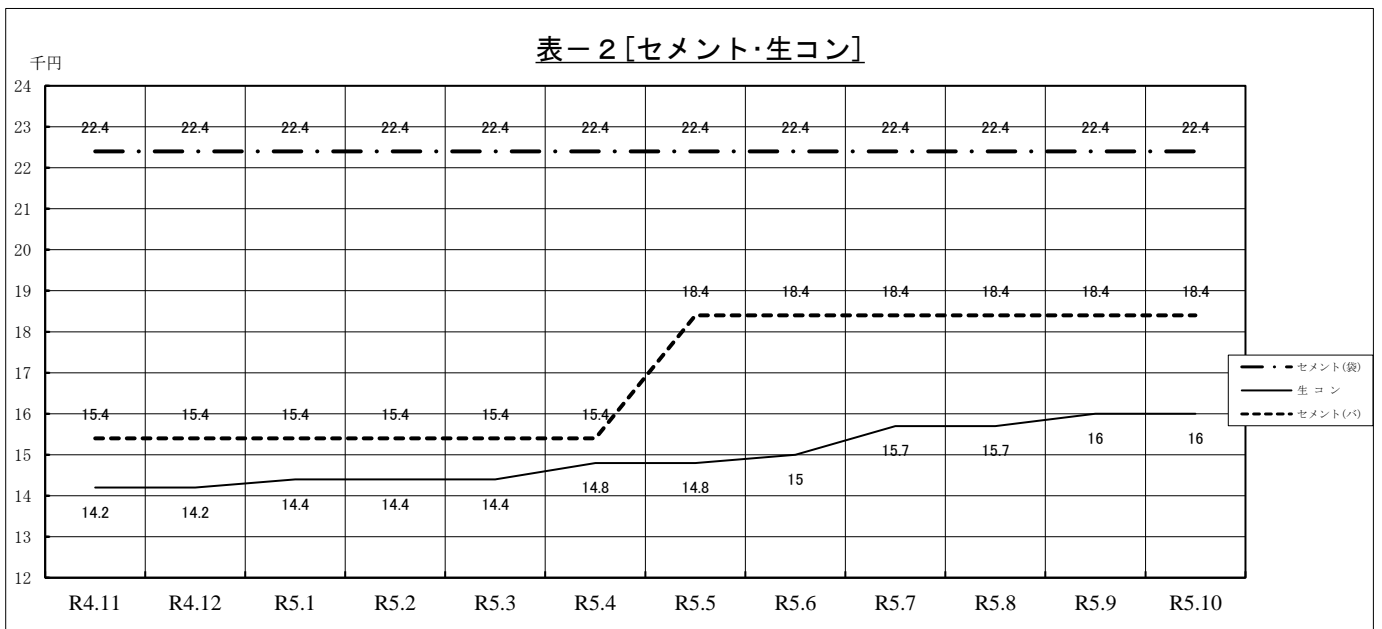


表-3 [骨材]

